

就学前教育(保育)の研修

香美市立保育園

令和5年度の研修予定

香美市主催の研修計画

○保育園総合研修(研修4回)

個人の資質の向上を図り、保育所全体としての保育の質の向上を図るため、専門家による講義を実施 (全職員)

○部会の研修(16部会 会議年間4回、年度初めは年間計画等の協議、研修は3回)

給食部会①、給食部会② (調理員等職員の研修)

支援部会①、支援部会②、支援部会③、支援部会④ (特別な支援を要する子どもに携わる職員の研修)

乳児部会①、乳児部会②、乳児部会③、乳児部会④、乳児部会⑤ (乳児担当職員の研修)

幼児部会①、幼児部会②、幼児部会③、幼児部会④、幼児部会⑤ (幼児担当職員の研修)

○ティーチャーズトレーニング (年間8回1コース、9回目にフォローアップ研修)

特別な支援を要する子どもの教育・保育に携わる職員の研修

○アセスメント研修 (美良布保育園、なかよし保育園で、各園2回実施)

特別な支援を必要とする園児について、保育士にその特性理解および特性に応じた支援や指導方法についての研修。

○吉田豊香先生による巡回研修(年間3回)

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿や、保・小・中の連携 を視点に 保育園を巡回して指導をいただく研修

令和5年度の研修予定

高知県主催の研修への参加計画

○新規採用職員研修（7日間：園内研修2日含む）

職務に必要な事項の基礎的な理解を図り、保育実践ができる資質・指導力の向上を図る。

○保育者基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲ（6日間：園内研修2日含む）

クラス運営の指導力の向上、保護者や地域社会との連携に関する指導力を身につける。

○主任保育士・教頭等Ⅱ（2日間）

園管理運営者として、教育・保育目標に向けた企画力・指導力等に関する経営的資質の向上を図る。

○所長・園長研修Ⅱ（2日間）

園管理運営の責任者として、人材の育成や組織の改善、広い視野に立った園経営能力の向上を図る。

○特別支援教育セミナー（1日間）

インクルーシブ教育システム構築を目指し、発達障害等の特性を理解し職員の資質向上を図る。

○保育技術専門講座（5日間）

乳幼児一人一人の特性や発達の課題に即した保育のための専門技術の習得を図る。

令和5年度の研修予定

高知県主催の研修への参加計画

○保幼小接続に関する研修（3日間）

小学校等との円滑な接続のため、保育所・幼稚園等及び小・中学校の関係者が、幼児教育に関する課題を共有し研究協議等を行う。

○児童虐待に関する研修（半日）

児童虐待を早期に発見する視点と虐待事例を通して適切な対応について学び、保育者としての対応能力の向上を図る。

○親育ち支援講座（1日間）

親育ち支援の基本的な考え方や保護者への関わり方等について、保育士等の親育ち支援力の向上を図る。

○オンデマンド保育セミナー（オンライン 6月、11月の間で受講可能な時期）

保育に必要な基本的な子どもの理解を深め、実践的指導力の向上を図る。

令和5年度の研修予定

高知県主催の研修への参加計画

○家庭支援推進保育講座 6月8日、12月15日

厳しい環境にある子どもの支援を行うための体制づくりや、保護者への関わり方、関係機関との連携等を研修し、家庭支援の推進を図る。

○ブロック別研修

高知県内を13地域に分けて、ブロック(地域)ごとに主体的な実践研修を行い、園内研修の企画・立案・運営を行うミドルリーダーを育成し、公開保育や実践研修の継続を図る。

・香美ブロック(香美市のみ)

新改保育園 5歳児園内研修、公開保育、親育ち支援研修

なかよし保育園 5歳児園内研修、親育ち研修

○高知県の外部専門家を活用した巡回研修

特別な支援を要する幼児について、関係機関から専門性の高い助言を受ける事で、幼児の特性に応じた適切な支援を行う事ができる等、保育者の資質・能力の向上を図る。

保育園総合研修

保育園職員全員を対象にした研修

- 4月・・・保育のスキルアップ、日常の園内活動と防災
- 8月・・・救急救命講習・嘔吐物処理方法講習
(講師:消防職員・保健師)
- 10月・・・虐待予防・通報、乳幼児期の咀嚼
(講師:高知県視聴覚士会、カンガルーの会)
- 1月・・・子どもの発達のとらえ方
(城東よつばこども園理事長、JA高知病院医師)

部会の研修

- 給食部会① (衛生管理、食品表示、調理実習、保健所講座調理実習等)
- 給食部会② (衛生管理、食品表示、調理実習、保健所講座調理実習等)
- 支援部会① (発達障害等の理解と支援、各園の状況、進級に向けた取組)
- 支援部会② (実践研修、リズム運動に関する研修、教材研究、描画研究)
- 支援部会③ (実践研修、小学校への接続、絵とかるた)
- 支援部会④ (各園の状況報告、行事等の取り組み、教材研究)
- 乳児部会① (手作り玩具の研究、絵本研究、児童虐待に関する研修)

部会の研修

- 乳児部会② (手遊びの実演、壁面制作、イヤイヤ期について等)
- 乳児部会③ (行事の取り組み発表、絵画・絵本の持ち寄り、手作り玩具)
- 乳児部会④ (行事の取り組み発表、絵画・絵本の持ち寄り、手作り玩具)
- 乳児部会⑤ (乳児期の発達、劇遊び、手作り玩具)
- 幼児部会① (保育実践の教材研究、行事等の取り組み)
- 幼児部会② (言葉のかけ方、保幼小接続、非認知能力を支える等)
- 幼児部会③ (教材研究、劇遊び、進級・進学に向けて)

部会の研修

- 幼児部会④ (行事の取り組み発表、絵画・絵本の持ち寄り、教材研究)
- 幼児部会⑤ (教材研究、身体を使った遊び、学校参観及び保小中接続)
- 園長部会 (保幼小接続、児童虐待、防災)

親育ち・特別支援保育コーディネーターによる ティーチャーズトレーニング

ADHDの子どもを持つ保護者が、行動療法の理論に基づいて、より適切な子育ての方法を身につけるためのトレーニングである「ペアレントトレーニングを」の内容を基本としつつ、保育士や教師向けに改編して実施。

- 全8回コース（6月5日、6月12日、6月19日、6月26日、7月3日、7月10日、7月18日、7月24日）、12月11日フォローアップ研修。
- 前回に学んだことを土台に、以降のプログラムを積み上げていく「ステップバイステップ」方式で実施。学んだことを実際にやって試して参加。
- 講師 親育ち・特別支援保育コーディネーター ○参加者数8人

アセスメント研修

特別な支援を必要とする園児について、その特性の理解と、特性に応じた保育士の支援や指導方法についての研修。

○支援の必要な園児の担任保育士等の振り返り、保育の活動の様子をみて、感想、講師との協議、今後に向けての確認、共有等。

○講師:広島大学大学院人間社会科学研究科 朝岡 寛史 准教授

○令和5年度 前期、後期の2回実施予定

前期 7月11日 美良布保育園 保育士3名、園外3名 参加

7月12日 なかよし保育園 保育士4名、園外1名 参加

後期 11月実施予定

今年度新しく取り組む研修

○幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿や、保・小・中の連携を視点に
保育園を巡回して指導をいただく研修

講師：吉田豊香先生

保育園での研修

5月30日 あけぼの保育園、なかよし保育園

8月31日 新改保育園、あけぼの保育園

2月8日 片地保育園、美良布保育園

※ 小学校と一緒に進む、吉田豊香先生の研修

4月19日(山田小)、6月8日(教頭会)、8月31日(教頭会)、2月6日(教頭会)

その他の取り組み

ICT導入を見据えた、タブレットの取扱いの練習

○保育業務のICT化を見据えた、機器の使用・取扱いの実践練習

ICT機器への職員のアレルギー解消を目的

計画作成等の事務作業負担軽減 ⇒ 保育の質向上へ

登降園管理、伝達事項管理、健康観察管理、計画・書類作成

食事・アレルギー・薬の管理

職員のシフト管理日誌等の管理等

今後の課題

○部会の充実

保育指針に基づいた保育運営を実践するための研修内容を部会に更に取り入れる事で、質の高い保育の提供を目指していく。

○オンラインによる研修の体制の確立

一部、オンラインの研修に参加しているが、オンラインでの研修を更に進めていく事で、研修参加に要する時間の節減により、より良い保育の提供を目指していく。